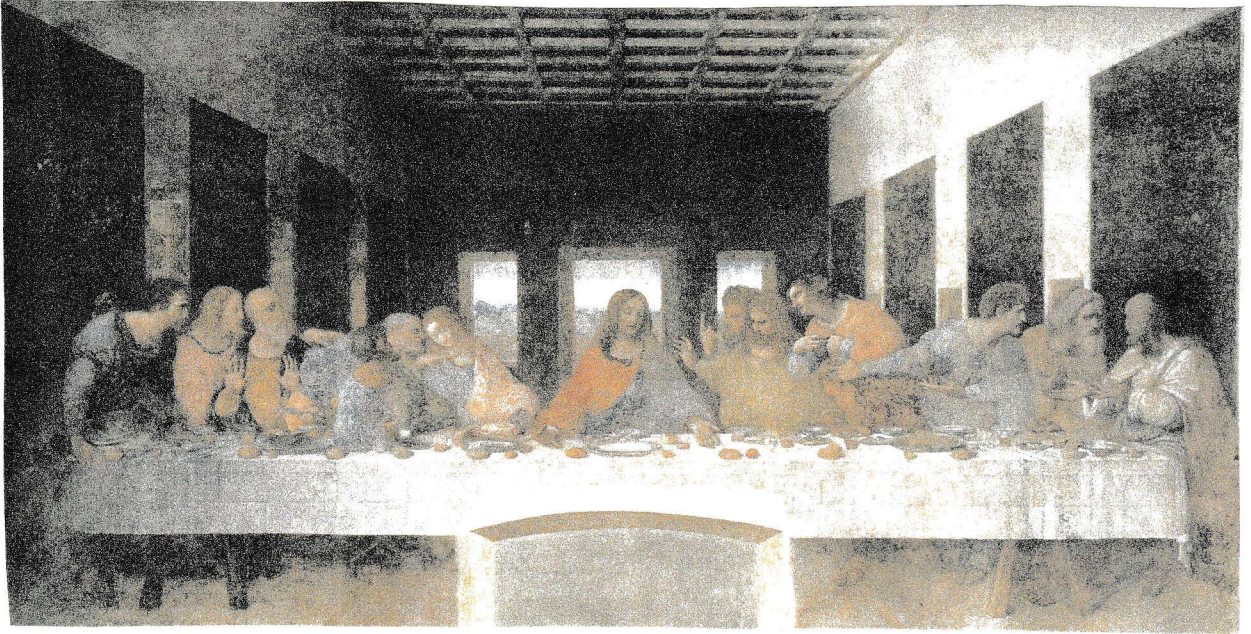


レオナルド・ダ・ヴィンチ

美7

1452年、国(イタリア)の(トスカーナ)地方の(ウインチ)村に生まれたレオナルドは(ルネサンス)期を代表する画家で、自然や人間を(科学)的な見方でとらえ、新しい絵画表現を追求していました。



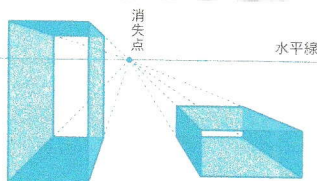
↳ 作品名「最後の晩餐」(世界遺産)

この作品は、キリストが中央に座り、弟子たちと会食をしている部屋の中が描かれています。「裏切る者がいる」というキリストの言葉に驚いた弟子たちのざわめきや聞こえてくるような雰囲気や霧気が表現されています。※(3)年の歳月をかけて描かれたが、完成後まもなく傷みだし、(22)年のもの期間をかけて大がかりな(洗浄)作業を行っています

重畳する弟子たちを3人ずつ配し、波紋が広がるように画面を(4)分割して構成している。

(キリスト)に消失点がある(一点透視図)法による空間表現によって、キリストの落ち着いた姿に視線がいく。

一点透視図法とは



近くのものや遠くのものとの間にある距離感や空間を画面上に表現する図法を(遠近法)といい、特に目に映る像を平面に写すための技法を(透視図法)という。

水平線と消失点を決めて描くことで遠近感を出す方法を(線遠近法)といい、消失点が水平線上の一点に集まる図法を(一点透視図法)という。